



蓮根小コミュニティ・スクール【iCS 便り】 ー令和 6 年度 Vol.4ー



新年はあっという間に過ぎ、大寒の時期になりました。風邪が流行っていますが皆さまお健やかにお過ごしでしょうか。

令和 7 年 1 月 18 日（土）、「いたばし学級活動の日」に第 4 回コミュニティ・スクール委員会（CS 委員会）が開催されました。CS 委員が参観した授業の様子、学校長より説明された令和 7 年度の主な取組み等に関わる質疑応答について、以下にその概要をご報告します。

<授業（学級活動－各クラスで児童がテーマ設定）を参観した各委員からの感想等>

- 各クラス、活発な意見交換がなされていたが、相手の意見に耳を傾け自分と違う意見を尊重する姿勢を育む大切な取組みだと感じた。いずれ大人になった時に必要な社会で生きる力になると思う。
- なるべく多くの児童に参加してもらうための段取り、タイムマネジメント、先生の立ち位置、消極的な児童の話し合いへ参加を促す関わり方もよく研究されているように感じた。
- 電子黒板とタブレットを利用することで、声の大きくない児童も参加しやすい環境が整えられていた。
- 自分を出すことも大切。「聞く力」と同様、「話す力」は、高学年・進級していくにつれてより大切になる。

<学校からの報告／令和 7 年度の主な取組み>

- 令和 6 年度教育活動アンケートの報告があり、令和 6 年 11 月末時点で保護者 220 件、児童 414 件、教職員 23 件より回答を得ていること、保護者・教職員が共に高評価している項目は、◆教え方や学習材の工夫、◆学校発信情報（お便り・ホームページ等）、◆学校・家庭・地域が協力した子供の育成であった。
→保護者・児童・教職員間で評価のばらつきがある項目は、理由の分析と対策を行ってほしい（CS 委員）
- 学級編成替えを 2 年毎から、毎年実施に変更する。変更する主な理由は、①児童の人間関係が広がる、②学級間の隔たりを毎年見直すことが可能、③多くの教員と関わることで、児童の長所を見つける可能性が広がる、また、区教育委員会も推奨している（学校便り「はすね 1 月号」で概要は連絡済。学芸会も同様）。
→保護者は事前説明無く決定事項として知ったことに唐突感と困惑を感じるとの声がある（CS 委員）
→学校運営に関わることで判断は学校長に委ねられていると理解するが、運営方針の大きな変更であり丁寧な説明を心がける必要がある。保護者宛は当然ながら児童への説明はされているのか？（CS 委員）
→児童へはクラス担任から説明している。総合的に判断して決定しており理解いただきたい（校長）
- 学芸会を廃止し、展覧会・音楽会を隔年で実施する。変更する主な理由は、「練習や準備に過大な時間をとり、児童に過重な負担をかけることのないように…（小学校学習指導要領解説「特別活動編」）」に則り、今後は土曜授業プラン等の学校公開日を活用し、学習成果の参観が可能な方法を検討する。
→来年度の学芸会を楽しみにしていた保護者も多く、問い合わせが届いていることをお伝えする（CS 委員）
→学級編成方法や学芸会の変更方針は第 1 回 CS 委員会で説明したが、保護者宛の連絡が新年度に入ってからでは宜しくないと考え、予め「はすね 1 月号」で通知し準備を進めているところです（校長）
- 昨今の夏の酷暑の影響を踏まえ、夏季休業中の水泳教室を実施しないことにする。
- 授業公開は、土曜日に年 4 回、平日に 3 回（各学期 1 回）に変更し、平日の参観も可能に変更する。

以上



【蓮根小 CS 事務局】

連絡先：hasunecs@gmail.com

蓮根小コミュニティ・スクールに対する皆さまのご意見等をお知らせください



Gmail アドレス